

スムーズな連携への備えに

7/4・11

消防団と消防署合同による図上演習訓練が実施されました

山村開発センターで行われた今回の訓練では、消火活動中の消防自動車への支援を行うという想定で、区内の防火水槽から高低差やポンプの性能などを考慮して迅速な給水活動をするためのルートを設定する演習が行われました。

今回の訓練に際し、川根北出張所の尾花所長は「建物火災の件数は減少しているが、万が一の際にスムーズな連携ができるよう訓練を積んでもらいたい」と話しました。



●川根北出張所の職員がアドバイザーとして参加しました

今年もソドー島からやってきました

6/22

大井川鐵道できかんしゃトーマス号の運行がスタートしました

大井川鐵道でトーマス号の運行が始まりました。6周年となる今年は、12月1日までの89日間運行される予定で、初めて紅葉シーズンの川根路を駆け抜けることとなりました。

初日は静岡県観光キャンペーンの特別列車として運行され、千頭駅では横断幕による出迎えや、保育園児による花束贈呈が行われました。

なお、トーマス号の運行期間中は、塩郷・田野口・青部の3駅周辺で商工会女性部が「手を振ろう運動」を実施する予定です。



●トーマス号を千頭駅でお出迎えした桜保育園の園児

7/4

これなら便利に使えるかも

高齢者向けスマートフォン講座が開催されました



●カメラの機能と使い方について教えてもらう参加者

山村開発センターを会場に高齢者向けのスマートフォン講座が開催され、15人が参加しました。

今回はNTTドコモの協力により簡単な操作に特化した機種を用意しました。初めてスマートフォンを使用する方ばかりということもあり、基本的な機能を中心にインターネットの活用法やカメラ機能の使い方といった初歩的な内容を学びました。

参加者からは「実際に使ってみてこんなに便利だと初めて知った」、「便利なのはわかったけど使えるかな」といった声が聞かれました。

6/22～23

接岨湖での熱い戦い

第66回東海高校総体カヌー競技が開催されました



●ゴール前で競り合うカナディアンカヌー

奥大井接岨湖カヌー競技場において、静岡・愛知・三重・岐阜の東海4県の高校生代表115人が一堂に会しての大会が開催されました。

2日間に行われた大会では、カヌー競技のカヤック・カナディアンの各部門ごと全35のレースが行われました。

地元川根高校カヌー部は決勝まで勝ち進みましたが、惜しくも上位入賞はならず、男子カヤックフォア(4人乗り)で4位、男子カナディアンフォアで5位、総合成績5位となりました。

なお、川根高校カヌー部は8月3日から鹿児島県で開催される南部九州総体(インターハイ)に静岡県代表として出場します。

夏山シーズン始まる

7/6

南アルプス登山道寸又峡口の山開きが行われました

本格的な夏山シーズンの到来を前に、寸又峡公民館において南アルプス寸又峡口山開き安全祈願祭が実施されました。

神事には地元住民のほか警察・消防関係者など約50人が列席しました。

主催したまちづくり観光協会の富田道明会長は「実際に登山した方からも話を聞くなどして、登山道の状況について積極的に情報を収集し発信することで、登山者の安全確保に努めていきたい」とあいさつしました。



●今シーズンの無事故・無災害を祈願する神事

みんなでつくる明るい社会

7/1

社会を明るくする運動街頭広報が実施されました

犯罪や非行の防止に理解を深め、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くことを目的とした「社会を明るくする運動」。その街頭広報が今年も実施されました。

当日はあいにくの雨となりましたが、町内8か所において歩行者、ドライバーに対する啓発を行いました。

また、街頭広報終了後には、保護司と更生保護女性会が町内の学校を訪問し、児童生徒に関する情報交換を行いました。



●町内の各小学校に啓発グッズが届けられました